

「BeSTA」は、NTTデータが開発した標準バンキングアプリケーションです。  
弊社は、日々成長を続ける「BeSTA」を活用し、国内金融機関の多様なニーズに応えます。

## BeSTA:

Banking application engine for Standard Architecture



BeSTA

### 【ベンダフリー】

ハードベンダを特定しない中立的なアプリケーション  
他社システムの接続を可能とする自由度の高いシステム

- ✓ 競争原理の維持
- ✓ 調達コスト低減

### 【マルチバンク】

1つのソフトウェアを複数の銀行で利用できる仕組み  
多数のユーザーの要件に対応し、豊富な機能を実装済み

- ✓ 開発コストの低減
- ✓ 維持コストの圧縮

### 【先進機能】

**柔軟性** : パラメータ設定により、柔軟な業務機能の設定・変更が可能  
**拡張性** : コンポーネント化されたAP構造により、将来のシステム拡張に対応  
**将来性** : NTTデータによる永続的なバージョンアップで、長期利用を保証

- ✓ 開発作業の省略
- ✓ 機能拡張の効率化
- ✓ 再構築の必要なし

弊社が開発したバンキング・コアソフトウェア「BeSTA（ベスタ）」を利用中または利用予定の銀行は現在50行以上あり、国内最大規模となります。

## ● 地銀共同センター（15行）

青森銀行	池田泉州銀行
秋田銀行	鳥取銀行
岩手銀行	山陰合同銀行
足利銀行	四国銀行
千葉興業銀行	大分銀行
北越銀行	西日本シティ銀行
福井銀行	愛知銀行
京都銀行	

## ★ STELLA CUBE（9行）

東北銀行	神奈川銀行
東京都民銀行	長野銀行
富山銀行	仙台銀行
但馬銀行	きらやか銀行
福邦銀行	

## ■ MEJAR（5行）

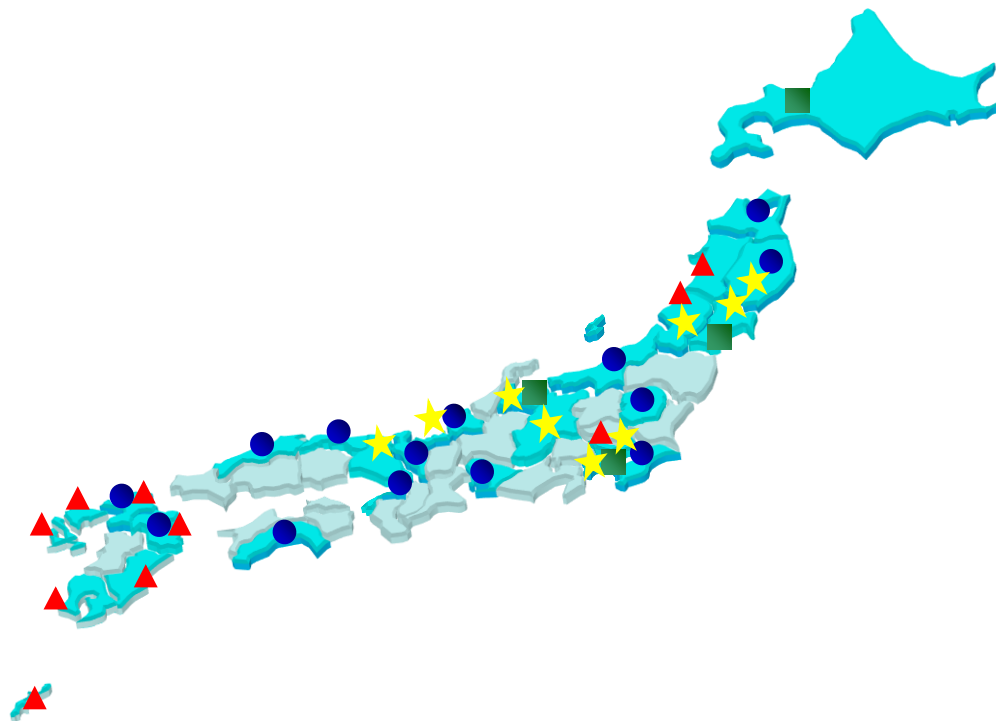
北海道銀行	北陸銀行
横浜銀行	七十七銀行
東日本銀行	

## ▲ BeSTAcloud（10行）

フィデアホールディングス 北都銀行 荘内銀行
あおぞら銀行
SBK 福岡中央銀行 佐賀共栄銀行 長崎銀行 豊和銀行 宮崎太陽銀行 南日本銀行 沖縄海邦銀行

## ■ NEXTBASE（13行）

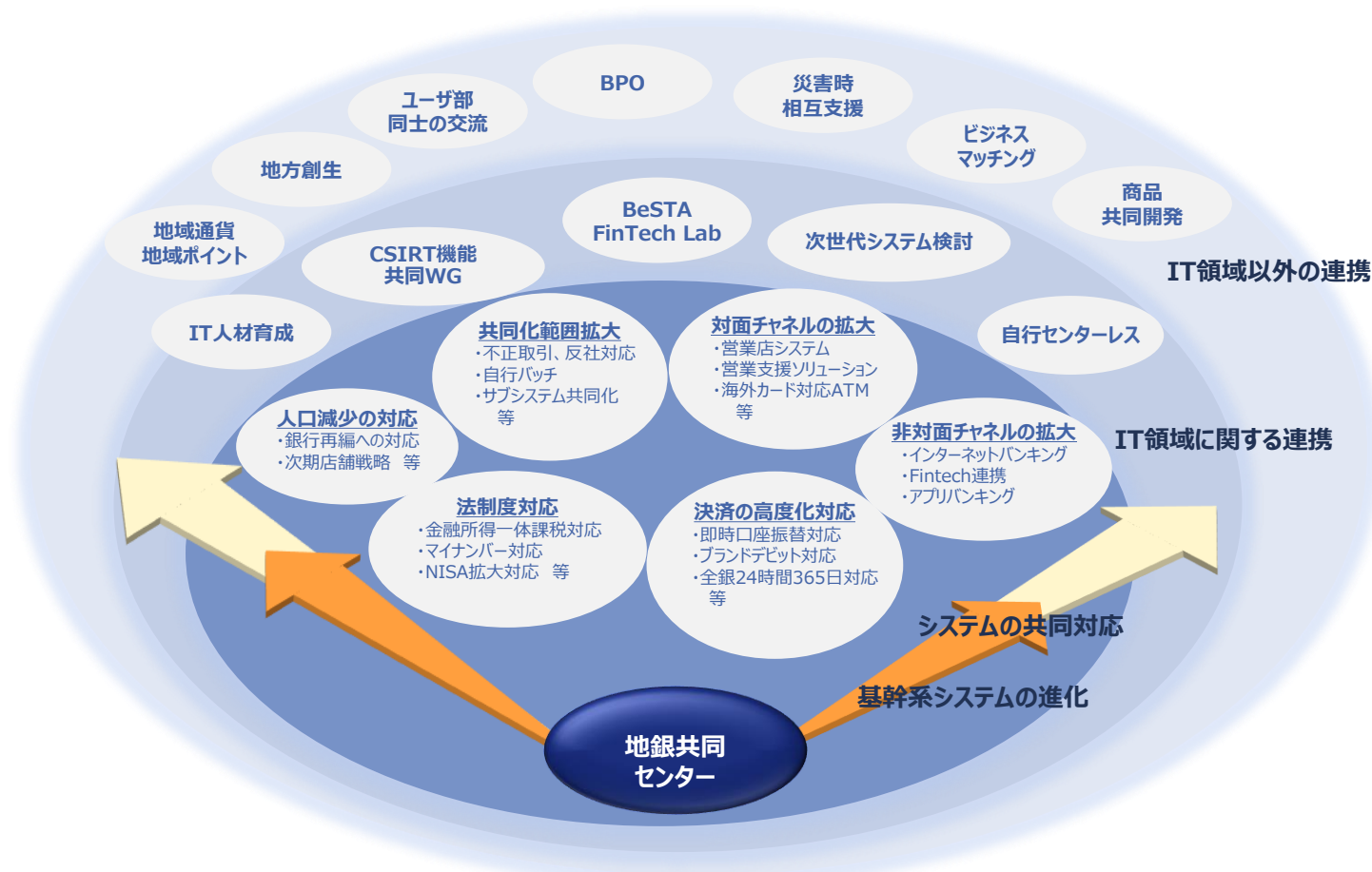
※BeSTAパッケージを、日立製作所にて提供



# バンキング・アプリケーション「BeSTA®」および その周辺ビジネスに関する協業

共同化対象システムの範囲拡大をさらに推進し、お客様間のIT領域に関する連携のみならず、IT領域以外での連携を高めることで、共同センターの価値を向上させたいと考えています。

IT領域以外の連携も含め、協業アイデアを幅広く募集いたします。



重点的に検討を進める領域は、「オペレーション」、「データ蓄積・分析」、「オープンイノベーション」の3領域と考えております。

重点検討領域		対象例(キーワード)
1	<b>自動化・効率化</b> (オペレーション) 行員作業や顧客向けサービスの自動化/ペーパーレス化/効率化に向けたソリューションを検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型的な事務の自動化・効率化 (AI・対話型インタフェース・RPAの活用)                          【バック事務】本人確認・融資審査・調査                          【フロント事務】店頭相談・電話/メール問合せ</li> <li>不正送金検知</li> </ul>
2	<b>営業・経営戦略の確度向上</b> (データ蓄積・分析) 銀行内外ネットワークとの接続によるデータの蓄積・分析機能の提供及び戦略策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客情報の一元管理・分析</li> <li>非構造型データの蓄積・分析</li> <li>取引内容や場所に応じて、適切なタイミングとチャンネルでキャンペーンを実施</li> </ul>
3	<b>オープンイノベーション</b> ベンチャー企業の持つ技術、リレーションを活かした、新たなビジネス創出 (Non-IT分野含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進技術の銀行業務への適用 (AI・認証技術・対話型インタフェース・VR・AR・ブロックチェーン等)</li> <li>FinTechによる、融資需要の掘り起こし・新しい決済サービス・銀行サービスの魅力向上等</li> </ul>

国内の主要な地方銀行、広くは金融業界のマーケットに対して、  
 貴社の持つ技術やサービスをご利用いただく貴重な機会になると考えています。  
 我々と一緒に、金融機関向けの新たなソリューションやビジネスについて、考えてみませんか？